

令和5年度第2回一関市協働推進会議

日時 令和5年7月20日(木)

午後2時～午後4時

場所 一関市役所2階

議会棟 議員全員協議会室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 説明及び意見交換

(1) 令和4年度元気な地域づくり事業の実施事業評価の報告について

(2) これからの地域協働についての意見交換
～各分野における現状と課題について～

4 その他

5 閉 会

一 関 市 協 働 推 進 会 議 委 員 名 簿

(任期：令和5年5月1日～令和7年4月30日)

16名 (50音順：敬称略)

No.	氏 名	ふりがな	地 域	区 分	備考
1	太 田 真希子	おおた まきこ	[Redacted]	[Redacted]	欠席
2	小笠原 あ い	おがさわら あい			
3	小野寺 健	おのでら けん			
4	小野寺 浩 樹	おのでら ひろき			
5	小 原 雪 男	おばら ゆきお			
6	小 山 賢 一	おやま けんいち			欠席
7	金 野 陸 夫	こんの りくお			
8	佐々木 承 子	ささき しょうこ			
9	佐 山 克 子	さやま かつこ			欠席
10	菅 原 幸 子	すがわら さちこ			
11	千 葉 昭 博	ちば あきひろ			
12	千 葉 真美子	ちば まみこ			
13	千 葉 理 恵	ちば りえ			欠席
14	星 義 弘	ほし よしひろ			
15	三 浦 幹 夫	みうら みきお			欠席
16	村 田 宰	むらた つかさ			

<令和4年度 元気な地域づくり事業の実施状況評価について>

【元気な地域づくり事業】

地域住民と行政が相互に協力し、それぞれの創意工夫により事業を展開することにより、自立に向けた活力ある地域づくりを進め、かつ、地域特性を活かした特色ある地域づくりの推進を推進することを目的として実施する。

(単位 金額：千円、事業数：件)

地域	予算額 ※配分額	決算額	執行率 (%)	実施事業数		当初計画 事業数	中止 事業数
				(内訳)			
一 関	5,175	4,203	81.2	8	継続 6	6	0
					新規 2	3	2
					(追加 1)		
花 泉	3,375	2,956	87.6	8	継続 4	4	0
					新規 4	4	0
					(追加 1)		
大 東	3,375	2,051	60.8	8	継続 2	4	2
					新規 6	8	2
					追加 0		
千 厩	3,375	2,377	70.4	9	継続 3	4	1
					新規 6	4	0
					(追加 2)		
東 山	2,925	2,785	95.2	11	継続 5	5	0
					新規 6	3	0
					(追加 3)		
室 根	2,925	2,920	99.8	8	継続 7	7	0
					新規 1	1	0
					追加 0		
川 崎	2,925	1,831	62.6	10	継続 4	4	0
					新規 6	5	0
					(追加 1)		
藤 沢	2,925	2,269	77.6	7	継続 5	5	1
					新規 2	2	0
					(追加 1)		
計	27,000	21,392	79.2	69	継続36	39	4
					新規33	30	4
					(追加 9)		

※実施事業数の (内訳) 内の (追加) 事業数は、継続事業、または新規事業の件数に含まれます。

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
一関 8事業 継6 新2	1	いちのせきランニング&ウオーキングMAP作成事業 (スポーツ振興課)	新規	実施	260	0	70	【事業の目的】 市民がスポーツに取り組むきっかけをつくることにより、スポーツ人口の増加と健康増進を図る。 【実施事業の概要】 一関地域内のおすすめのランニングコース、ウオーキングコースを市民から募集し、MAPを作成。MAP完成後は、スポーツ施設等への配架のほか、HP、SNS等で広く周知する。 <ul style="list-style-type: none"> R4.11.2~11.25 ランニング及びウオーキングおすすめコースの募集 R5.2.3 関係団体とのワークショップ（コース選定） R5.2~3 MAP作成・印刷・各施設等への配付 R5.4 市HPにてMAP作成周知 	一関地域内	一関市陸上競技協会、一関楽走会、一関歩こう会	MAP配布数 1,000部	(担当課自己評価) おすすめのコースを市民から募集することにより、市民の意見を反映してMAPを作成することができた。コースの募集の周知については、応募が少なく、周知方法に課題があった。 (懇談会の評価・意見等) 地区ごとにテーマを設けるなど、今後広がりをもてるような内容を工夫してほしい。
	2	AUTUMN LIGHTUP in 釣山 (都市整備課)	継続 13	実施	510	0	489	【事業の目的】 釣山公園では、毎年形を変えながらも紅葉のライトアップなどを行ってきた。また、春は一関春まつり実行委員会主催で桜のライトアップが行われている。 最近では、インターネットの普及に伴い、市内はもとより市外からの問い合わせが増え、市内有数の公園(観光地にも)となっていることから、紅葉のライトアップを集中的かつ例年より規模を大きく実施し、公園の魅力を発信し利用者の憩いの場となる公園であることをPRする。 【実施事業の概要】 日時 令和4年10月29日(土)～11月13日(日) 16日間 16時～19時 場所 釣山公園 内容 紅葉ライトアップ	釣山公園	実行委員 市民26名 職員4名	(計測なし)	(担当課自己評価) 事業実施体制に課題があり、協働で実施する意識が薄れていたと思われることから、実行委員会形式での開催はR4年度で終了し、R5年度以降は、公園管理の一環として市直営事業として実施し、釣山公園の魅力を発信していく。実施にあたっては、これまで同様、近隣住民等の意見を聞きながら進めていく。 (懇談会の評価・意見等) 夜間に案内する箇所として良い。引き続き実施してほしい。
	3	デジタルデータ活用促進事業 (まちづくり推進課)	継続 4	実施	297	3	300	【目的】 各地方自治体が公開しているオープンデータをはじめとするデジタルデータやデジタルマップを活用し、地域課題の解決に寄与する。 アプリ開発や年間のイベント開催を伴う一般参加型コンテストの「アーバンデータチャレンジ」に参加し、他の地域拠点の取組から学ぶとともに、ワークショップ等を通じて、デジタルデータを活用した地域課題の解決の方法を検討し実践する。 【実施事業の概要】 デジタルデータの活用により、地域の活性化や、課題の解決に結び付けられるよう 様々な団体との連携により取り組んだ。 (1) キックオフ・イベント(令和4年7月1日(金):オンライン) (2) 中間シンポジウム(令和4年11月25日(金):オンライン) (3) 連絡会議(令和4年11月26日(土):オンライン) (4) ファイナル(最終報告・審査会)(令和5年3月予定:オンライン) (5) 一関拠点イベント:11回 <場所>(オンライン以外) 一関拠点イベント:市民センター(真柴、巖美、萩荘)、なのはなプラザ <実施回数/参加者数> 一関拠点イベント:11回/延べ197人	市民センター(真柴、巖美、萩荘)、なのはなプラザ	UDC一関拠点、県南技研、一関高専、一関工業高、市民センター(真柴、巖美、萩荘)、清庵の里ほか	197人	(担当課自己評価) ITツールやデジタルテクノロジー等の活用は、人口減少社会を迎えている中でのこれからのまちづくりに欠かせないものであり、引き続き地域に浸透させて、底辺を広げていく必要がある。 (懇談会の評価・意見等) 参加できなかった方や、他地域の興味を持った方が、画面上でプレウォーキングをしてから実際歩きに来てくれたりしており、今後の広がりが楽しみである。
	4	KMY(狐禅寺・みんなして・やっべし)プロジェクト (狐禅寺市民センター)	継続 2	変更 実施	605	0	537	○リバースクール狐禅寺部会 【目的】 狐禅寺地区を流れる滝沢川を舞台に、季節毎に、川について学び・親しむ機会を提供し、滝沢川の自然環境保護と地域への愛着心の醸成を目的とする。 ①川遊びまつりin滝沢川 【日時】 令和4年7月31日(日)10:00～12:00 【概要】 ・川下りや河川清掃、水生生物調査を行い、河川の環境、魚の生態について学習する。 ・イワナのつかみ取り体験を行い、水産資源について理解を深める。 ②サケの遡上観察会 ※ サケの遡上が確認できなかったことから実施見送り ③サケの稚魚放流in滝沢川 【日時】 令和5年3月4日(土) 【概要】 ・市民センターでサケの稚魚を飼育展示して放流する。 ・砂鉄川鮭鱒増殖協会からサケの稚魚を提供してもらい滝沢川に放流する。 ○狐禅寺「未来図会議」部会 ①思い出を未来へ第1弾「幼稚園・幼児園の思い出写真募集事業」 【目的】 令和5年3月末で閉園となる狐禅寺幼稚園に関わってきた方々から思い出の写真の募集を募り掲示することにより、思い出を振り返るとともに、思い出づくりの機会を創出する。 【実施時期】 募集期間: 令和4年9月25日(月)～10月26日(水) 展 示: 令和4年11月6日(土)市民センターまつり市民センターまつり終了後も体育館脇の廊下に展示 ②思い出を未来へ第2弾「ありがとう こぜんじょうちえん イルミネーション点灯事業」 【目的】 市民センターと幼稚園の前庭にペットボトルタワーなどのイルミネーションを点灯し、園児たちの思い出づくりと、幼稚園へのこれまでの感謝の気持ちを表す。 【事業内容】 (1)地域住民や市民センター利用者などの協力を得て、ペットボトルタワー、ペットボトルトンネル、イルミネーションを制作。 (2)イルミネーション点灯式 令和5年2月25日(土) 16:00 【点灯期間】 令和5年2月25日(土)～3月20日(月)	①②③ 滝沢川 ④⑤ 狐禅寺市民センター	KMYプロジェクト 実行委員会 (真滝2～6区から各区2名×2部会=20名)	約300人	(担当課自己評価) 地域特性や、地域事情に合った事業実施となり、地域の活性化につながるのと同時に、将来の地域づくり活動への波及が見込まれる。 実施体制の仕組みづくりと、事業内容を工夫しながら継続して実施することで、地域の活性化が期待できる。 (懇談会の評価・意見等) 川に入る(川遊び)という、今となってはなかなかできないことが体験できる貴重な機会であることから、今後も継続して取り組んでいきたい。

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
	5	一ノ関駅前商店街 ミニ七夕飾り製作展示事業 (観光物産課)	継続 3	実施	565	0	565	【事業の目的】 ミニ七夕飾りを一ノ関駅前商店街や幼稚園等の協力で製作し、店舗の軒先等に展示することで、新型コロナウイルス感染症の影響により活気が薄れている商店街の回復と活性化や市民の元気向上を図る。 【実施事業の概要】 <実施日時> 製作期間：令和4年6月中旬～ 展示期間：令和4年7月14日～8月31日（49日間） <実施内容> ミニ七夕製作サイズ…約180cm（玉直径35cm、吹き流し約130cm、ひも約20cm） <対象者> 一関市民、市外在住者 <参加団体> 15団体	一関市大町 地内ほか	一関商工会議所、 一関青年会議所、 一関銀座会、大町 商店街協力店舗、 市内児童クラブ、 保育園、社会福祉 施設ほか	(計測なし)	(担当課自己評価) 夏まつりの七夕飾りと共に商店街を彩り、商店街の賑わいづくりに貢献した。 また、一関の夏の風物詩として古い歴史のある七夕飾りの伝統文化の継承にもつながっており、市民意識が醸成され、地域づくりの推進に寄与している。 (懇談会の評価・意見等) 製作を通じ、夏まつりへの期待感を高めると共に、夏まつり終了後も展示したことで、帰省客等にも楽しんでもらった。伝統ある七夕飾りが市民の中で徐々に定着してきていることは大変素晴らしい。
	6	いちのせき雪上楽園 2023in真湯温泉 (観光物産課)	新規 追加	実施	0	1,452	1,452	【事業の目的】 栗駒山麓地域の観光課題である冬の閑散期対策の解決を図る。 【事業の概要】 <実施日時> 令和5年1月7日(土)～2月26日(日)の土日祝日18日間 午前9時30分～午後4時まで（最終入場 午後3時30分まで） <事業内容> 冬の遊び場（特大スライダー、巨大な雪の迷路、フルスペース） <対象者> 市内外の親子連れ、祖父母ほか <参加者数> 2,053人 <実施回数> 18日間 <その他> 入場料：おひとり様500円（ただし、2歳までは無料） 入場特典：真湯温泉センター入浴半額券付き	真湯温泉セ ンタージャ ブ広場	(一社)一関ネイ チャセンター、 NPO法人須川の自 然を考える会、一 関温泉郷協議会、 (一社)世界遺産 平泉・一関DMO、 一関温泉郷協議会	2,053人	(担当課自己評価) 隣接する真湯温泉センターでは雪上楽園入場者に向けた入浴半額券の配布、近隣の温泉施設では雪上楽園入場券付き宿泊プランを販売するなど、地域一体となって事業を盛り上げる事ができた。新たな冬の観光コンテンツとして、真湯・祭時地区を盛り上げる企画を達成することができた。 (懇談会の評価・意見等) 冬のコンテンツとしては魅力的である。 真湯温泉センターの活用についても、非常によい連携の仕方だったと思う。
	7	ほんでらフェスタ2022 (骨寺荘園室)	継続 2	実施	685	0	655	【事業の目的】 骨寺村荘園遺跡の歴史的価値や中世からの姿を残す農村景観の魅力を市民に伝えるとともに、事業を通じて地元住民と来訪者の交流を図る。 【実施事業の概要】 ①実施日時 令和4年11月3日（木・祝）10：00～15：00 ②事業内容 ・音楽祭（千厩高校等曲部ほか3団体による） ・マルシェ（12店舗） ・遺跡探訪サイクリング ・産直 ・餅いものこ汁ふるまい等 ・岩手県3つの世界遺産特別展（パネル、パンフレット等展示） ・地産地消講師による高座	骨寺村荘園 交流館	骨寺村ガイドン ス運営協議会、本 寺地区地域づくり 推進協議会、厳美 中学校「ふるさと 隊」等	約700人	(担当課自己評価) 多くの来場者があり、遺跡の歴史的価値や農村景観の魅力を発信することができた。 地元中学生がボランティアスタッフとして関わることで、来場者との交流促進につながった。 (懇談会の評価・意見等) 学生など、若い方が地域を担うことはとてもよい。 2年目でかなりの集客があるとのことで活気があってよい。若い人が中心となっていることから、このまま続けていただきたい。
	8	えきえき連携促進事業 (博物館)	継続 8	変更実施	147	0	136	【目 的】 博物館を「学びの駅」ととらえ、隣接する「道の駅」厳美溪と連携し、相互利用を促進する仕組みを構築し、社会教育と地域産業の活性化の相乗効果をつくり出す。 【実施事業の概要】 (1)夏のえきえき連携促進事業 実施日時 8月3日14:00～15:45 内 容 ①餅つき体験と試食(道の駅) ②「はくぶつかんクイズ」「和算にチャレンジ」(博物館) (2)秋のえきえき連携促進事業 実施日時 11月6日9:00～12:00 内 容 ①建部清庵の業績、博物館についてのパネル等を展示 ②建部清庵に関する「せいあんクイズ」を実施 ③釣山公園のパンフレットを配布し、清庵野草園を周知 ④建部清庵に因んだ野草料理のレシピ集を配布(清庵の里) ⑤建部清庵に因んだ物品等を販売(清庵の里) (3)先進地視察 3月実施予定 ※中止	一関市博物 館、道の駅 厳美溪	道の駅厳美溪、清 庵の里、厳美児童 クラブ	(1) 30人 [対象：厳美 児童クラブ所 属の児童と関 係者] (2) (計測なし) [対象：道の駅 厳美溪、博物 館来館者]	(担当課自己評価) 関係団体との協議を重ね、連携して実施することができた。 「学びの駅」である博物館と「道の駅」厳美溪が、隣接している地域の特性を活かし、特色のある事業を展開し、社会教育と地域産業の活性化の相乗効果が図られた。 (懇談会の評価・意見等) 夏の事業で、前年に参加していた子供が中学生になり、スタッフとして協力してくれたと説明があった。 素晴らしい取り組みだと思うので頑張してほしい。
	9	はじめてのソロキャンプ (いきがづくり課)	新規	中止	250	0	0	【目的】 コロナ禍で需要が高まっているキャンプ体験を通じて、自然と触れ合い、非日常を感じながらリフレッシュを図るとともに、市民の生涯学習に対する関心を高める。 ※ 座学8/27、ソロキャンプ9/10～11の予定で企画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け中止。	いちのせき 健康の森			
	10	かやぶき民家を守って行こう (都市整備課)	新規	中止	1,727	-1,727	0	【目的】 市全体として魅力ある景観まちづくりを進め、地域の生活様式を活かした取り組みを今後とも大切に残し、茅葺き屋根を後世に引き継ぐため、茅葺き職人の後継者育成を基本とし、茅葺き民家の保存・継承に繋げる。 ※ 事業の実施を協働の相手方である「かやぶき民家を残す会」と協議していたところ、高齢化により「かやぶき民家を残す会」を解散することになったとのことにより、事業の実施が困難となり中止した。	市内			
	-	緊急事業等対応分	-		129		0	※ 実施なし				
	8				5,175	-272	4,203					

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
花泉 8事業 継4 新4	1	早稲田大学競走部花泉合宿交流事業 (地域振興課)	継続8	実施	450	0	52	<p>【事業の目的】 花泉地域内の児童・生徒、住民がテレビを通して見ているトップアスリートとのふれあい・交流事業を通じてスポーツの基本や楽しさを学ぶ。また、早稲田大学競走部の箱根駅伝での活躍を花泉地域全域で応援する。</p> <p>【実施事業の概要】 (1)早稲田大学競走部との交流事業 ①早稲田大学競走部部員による小学生から高校生を対象としたランニング教室の開催 →合宿が見送りとなったため、実施無し。 ②早稲田大学競走部の花泉合宿期間中に町内に横断幕、のぼり掲揚 令和4年12月26日から令和5年1月4日まで、JR花泉駅前市営駐車場に横断幕を設置。 (2)箱根駅伝の応援事業 競走部の箱根駅伝大会での活躍を応援するため、支援実行委員会と協力し、令和4年12月20日に花泉の地場産品花泉の地場産品（食材）を大会前に合宿所に提供するため発送した。</p>	早稲田大学競走部合宿所、JR花泉駅前市営駐車場	東京箱根間往復大学駅伝競走早稲田大学競走部支援実行委員会	新型コロナウイルス感染症等の影響により0人	<p>(担当課自己評価) 地元産の食材提供は、早稲田大学競走部のホームページで紹介され、一関市の知名度向上、特産品PRに寄与している。</p> <p>(懇談会の評価・意見等) 特になし</p>
	2	花泉キッズフェスタ (産業建設課)	新規	実施	1,412	0	1,404	<p>【事業の目的】 令和4年度に花と泉の公園内にオープンする子どもの遊び場施設を活用し、子どもの多様な体験の場を提供することにより、子どもの健やかな成長を促す。また、幅広い年代が触れあえるイベント等により世代間の交流を促進し、地域ぐるみで子育てする意識を高め、地域の活性化につなげることを目的とする。</p> <p>【事業の概要】 ※花と泉の消防広場と同時開催 実施日時 令和4年9月10日(土)・9月11日(日) 場 所 花と泉の公園 内 容 ①芸能発表(太鼓演奏、大黒舞、鶏舞) ②ステージイベント(トレインジャー撮影会、キッズコーラス、ジャグリング等) ③子ども広場(バルーン&マジックショー、キッズダンス、ふれあい動物園、キッズ創作体験、おさがり広場、押し花教室、ギャザリング教室、ハーブ教室) ④保健福祉コーナー ⑤スタンブラリー</p>	花と泉の公園	市民検討委員花泉キッズフェスタ部会	約2,400人	<p>(担当課自己評価) コロナ禍で感染防止対策に十分配慮しての開催であり、難点もあったが、子ども連れ家族の来場が多く、イベントの趣旨等について市民からの理解が得られ地域活性化に寄与した。 今後、コロナ禍での花と泉の公園を会場に行う多様なイベントの開催開催の参考となる形をつくることできた。</p> <p>(懇談会の評価・意見等) 特になし</p>
	3	花と泉の消防広場 (一関南消防署)	新規	実施	349	0	287	<p>【事業の目的】 高校生や自主防災組織団体等から消防防災について広報することにより、地域住民に安全・安心なまちづくり及び防火防災意識の高揚を図ることを目的とする。</p> <p>【事業の概要】 ※花泉キッズフェスタと同時開催 実施日時 令和4年9月10日(土)9:30~15:30、11日(日)9:30~15:00 場 所 花と泉の公園 内 容 ポンプ車放水体験、非常食展示、心肺蘇生訓練、水消火器取扱訓練、スモークハウスでの避難体験、自主防災組織PRコーナー、花泉高校生徒防災調査発表、子ども体験コーナー</p>	花と泉の公園	花泉高校、花泉町自主防災組織連絡協議会、一関市消防団花泉、花泉町婦人消防協力隊	約2,424人	<p>(担当課自己評価) 事業対象者である子どもたちの将来の職業の参考になる、いいPRができて当初の目的を達成できた。</p> <p>(懇談会の評価・意見等) 特になし</p>
	4	「映えスポット」創出事業 (産業建設課)	継続2	実施	530	-100	519	<p>【事業の目的】 コロナ禍の沈滞ムードがあるなか、写真スポット(「インスタ映え」)になるようなイルミネーションを地元高校生とともに設置。</p> <p>【事業の概要】 実施日時 令和4年12月13日(火)~令和5年1月16日(月) 16:30~20:00 場 所 JR花泉駅 内 容 ①イルミネーション点灯式 (12/13) ②イルミネーションの点灯</p>	JR花泉駅	花泉高等学校魅力化プロジェクト「地域課題研究」地域おこし・暮らしグループ	約1,750人	<p>(担当課自己評価) 市民から「寒い夜、癒されます。」などの感想が寄せられる等、地域に明るい話題を提供できた。</p> <p>(懇談会の評価・意見等) ライトアップの規模を大きくしてほしい。市の予算がないなら、他の方法(タイアップ、寄付金募集)を考える工夫をしてはどうか。</p>
	5	花泉安心安全まちづくり啓発事業 (市民課)	新規	実施	135	0	135	<p>【事業の目的】 市民の交通安全や地域内の防犯に対する意識を向上させるため、市民と共働による交通安全啓発活動や交通安全教室・防犯教室を行い、被害の未然防止と安全で住みよい地域づくりを目指す。</p> <p>【事業の概要】 1 入学児童対象交通安全教室 実施日時・場所 令和5年2月8日(水)10:30~11:00丸喜の家にここにこ保育園 令和5年2月14日(火)10:00~10:30花泉こども園 令和5年2月17日(金)10:00~10:30金沢保育園 令和5年2月21日(火)10:00~10:30わくつこども園 令和5年2月24日(金)10:00~10:30花泉保育園 各園の園児に対し、花泉地域交通安全母の会連合会の皆さんが紙芝居を読み聞かせするとともに、啓発物品を配布し、交通安全に対する意識の向上を図る。 2 交通安全啓発活動 新花泉小学校周辺設置用と交通安全啓発活動時使用の交通安全啓発のぼり購入</p>	丸喜の家にここにこ保育園、花泉こども園、金沢保育園、わくつこども園、花泉保育園	花泉地域交通安全母の会連合会、丸喜の家にここにこ保育園、金沢保育園、わくつこども園、花泉保育園	500人程度	<p>(担当課自己評価) 花泉地域内の5つのこども園等に通う全園児を対象に、交通安全啓発物品の配布を実施し、交通安全意識の向上を図った。</p> <p>(懇談会の評価・意見等) 新花泉小学校への通学に対応した啓発活動を行ってほしい。事業の効果があるなら継続してほしい。</p>

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
	6	花泉ふるさと便 (産業建設課)	継続 3	実施	200	0	200	【事業の目的】 花泉地域で生産される特産品を小包便として宅配することにより都市との交流を深め、産地の確立と消費の拡大及び生産意欲の向上を図る。 【事業の概要】 実施日 令和4年7月1日～令和5年1月31日（注文：H4.11.1～11.30・発送：H4.12.14～12.23） 場 所 花泉地域内（全国発送） 内 容 花泉地域内より、農産物、加工品等の特産品を募り、詰め合わせにして全国に発送。商品の企画、PR、販売、アンケート等を一体的に行った。	花泉地域内 (全国発送)	一関商工会議所花泉支所、一関観光協会花泉、花泉観光開発株式会社	72人 (191件)	(担当課自己評価) 生産者、消費者から好評を得られ、消費拡大や産地確立に貢献した。 委託事業者が今後自主事業としてふるさと便を継続する意向であり、効果があった。 要望はあるものの商品の企画にまでいたらなかったものもあり、アンケート等を生かしきれなかった。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	7	としょかんイベント (花泉図書館)	継続 9	実施	292	0	259	【事業の目的】 元気な地域づくりを目指すには、地域住民一人一人が抱えている個々の問題を解決し、日々の生活に潤いと活力を見出すことが必要である。そこで、民間企業（人）と図書館の持つ情報を融合しながら、個々の課題解決に役立つ情報（資料）提供を行い、地域活性化への対応、高齢社会及び人口減少社会に対応するまちづくり、子育て世代への支援を行う。 【事業の概要】 実施日時・内容・場所 ① 5月14日 「がんを身近に考える」 花泉図書館 ② 9月11日 「コスミックカレッジin花泉図書館 水ロケットを飛ばそう！」 花泉図書館、花泉中学校 ③ 11月23日 「加藤休ミさんとクレヨンでかがみもちをつくろう！」 花泉図書館 ④ 12月18日 「スマホ写真講座～映えるイルミネーションを撮ろう～」 花泉図書館、JR花泉駅 ⑤ 2月19日 「読書ボランティア講座」 花泉図書館	花泉図書館、花泉中学校グラウンド、JR花泉駅	一関病院院長、JAXA宇宙教育センター、写真館、千葉写真館、NPO法人おはなしころりん、図書館サポーター、各小学校読書ボランティア	約89人	(担当課自己評価) 住民の地域活動活発化、地域住民同士の交流促進に寄与した。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	8	はなみずみ食歩きマップ作製 (産業建設課)	新規 追加	実施	0	100	100	【事業の目的】 食歩きマップを作成することで、観光を促進するとともに、コロナ禍で疲弊した飲食店を支援する。 【事業の概要】 実施日時 令和5年3月6日～31日 内 容 地域内飲食店の協力ではないみ食歩きマップを作成、配布した。 マップ仕様：A3コート紙、両面カラー印刷、8つ折り	花泉地域内掲載各店舗(17店舗)、市内公共施設、花と泉の公園等観光関連施設	一関市観光協会花泉・飲食店主	1,300部	(担当課自己評価) 地域の飲食店を紹介することにより、消費拡大や地域の活性化に寄与した。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	-	緊急事業等対応費 (地域振興課)	-		7	0	0	年度途中に生じた緊急、突発的な事業を実施する。				
	8	計			3,375	0	2,956					

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
大東 8事業 継2 新6	1	詩人活動講演会 (地域振興課)	新規	中止	160	0	0	【事業の目的】 令和5年4月開校の新生台帳中学校の校歌の作詞者である御徒町風氏を招き、詩に込めた思いや作詞についての講演会を開催する。詩の魅力を感じるとともに、現代詩人との交流の場をつくることを目的とする。 ※御徒町氏のスケジュール変更により、日程の再調整が整わなかったことから、事業の中止を決定した。(R5.1.24)				
	2	のってみたいな ぼくのわたしの夢のバス (地域振興課)	新規	実施	85	0	49	【事業の目的】 保育園児、幼稚園児にバスを身近な乗り物として感じてもらい、その家族も含めてバスへの関心を高め、市営バスの利用促進を図ることを目的とする。 【実施事業の概要】 大東地域内の保育園児及び幼稚園児が考える未来のバス、乗ってみたいと思うバスの絵画を募集し、応募された作品を市営バス車両内及び大東図書館内に展示した。 バスの絵の募集 6月13日～9月2日 バスの絵展示 10月11日～11月30日	市営バス大東車両内及び大東図書館	(有)大東交通サービス、大東図書館	45人	(担当課自己評価) 市営バスに関連付け、大東地域の保育園児及び幼稚園児に描いてもらった未来のバス・乗ってみたいと思うバスの絵を大東図書館内及び市営バス車両内に展示し運行することで、多くの人の目に触れ、バスへの関心と興味を高めることができた。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	3	笑顔でつなぐ にこにこピースなまち おおはら (地域振興課)	新規	中止	122	0	0	【事業の目的】 地域の方の暮らしの中での「笑顔」の写真を商店街に掲示することにより、撮影された人も写真を見た人もお互いが笑顔になり、イベントの中止や縮小が続いている商店街に活気を戻し、地域全体の活性化に繋げることを目的とする。 ※コロナ禍にあり、日程等協働の相手との調整が整わず、今年度の実施が難しいと判断し、事業の中止を決定した。(R4.12.8)				
	4	一関市・大東大原水かけ祭り無料休憩所開設事業 (地域振興課)	継続5	中止	32	0	0	【事業の目的】 市街地の空家を無料休憩所として活用し、観光客が快適に祭りを楽しめるようにするとともに、祭りちらし、観光パネル等を配置し、一関市大東町のPRを行う。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、水かけ祭りが「火防祈願」のみの開催に決定したことから、本事業の中止を決定した。(R5.1.20)				
	5	地域が元気になる子育て支援 (保健福祉課)	新規	実施	96	0	45	【事業の目的】 子どもの見守りについて、子どもの居場所にかかる講演会やワークショップを通して、保護者や地域住民とともに考える機会とする。また、協働の精神の醸成や放課後児童対策事業における支援スタッフの人材の掘り起こしを目的とする。 【実施事業の概要】 子育て支援講演会及びワークショップの開催 講演： 特定非営利活動法人きらりんきっず (陸前高田市) 日時： 10月2日(日)14時～16時	大原市民センター	いちのせき市民活動センター、大東地域各協働体	72人	(担当課自己評価) 楽しみながら子育て支援を実践することの大事さを学んだ。講演会後に開催したワークショップでは、地区ごとに子育て世代と子育てに関心を持つ世代の幅広い年齢層のメンバー構成で活発な意見交換が行われた。また託児所開設も行い、安心して子育て世代が参加できる事業となった。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	6	砂鉄川川床まつり (産業建設課)	継続6	中止 (予算執行あり)	392	0	112	【事業の目的】 砂鉄川河川敷を開闢に、子供から高齢者まで楽しめるイベントを開催し、砂鉄川を活用した賑わいの創出と大東地区の活性化を図る。 【実施事業の概要】 ポスターチラシ印刷代、新聞折り込み手数料について支出した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、関係団体との協議により本事業の中止を決定した。(R4.7.26)				
	7	大東グルメ祭 (産業建設課)	継続6	実施	458	0	393	【事業の目的】 市内外の人気グルメを一堂に会し、地元企業や地元の高等学校と協力し賑わいを創出することにより、当地域の購買力向上につなげ、商店街と地域住民との親睦を深め、元気な地域づくりを目指す。 【実施事業の概要】 グルメ販売(出店数20店舗(うち市内15店舗(招待3店舗)、市外5店舗(招待1店舗)) グルメコンクールの実施 日時： 10月18日(日)9:30～15:00	四ツ角商店街(後藤工建、北日本銀行摺沢支店駐車場)	四ツ角商店会、一関商工会議所、大東高校生	1,017人	(担当課自己評価) 新型コロナウイルスの新規感染者が減少していた時期と重なり、地域内外からの来訪があり、会場は大いに賑わっていた。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	8	室根高原牧場まつり (産業建設課)	継続6	実施	451	0	370	【事業の目的】 室根高原でイベントを行うことにより、来訪者に自然や動物とのふれあいの場を提供し、観光地としての魅力を発信し、集客を図る。 【実施事業の概要】 引馬、牧草ラップ重量当てクイズ、牧草ラップ落書きコーナー、大東高校鹿踊り、乗馬ショー、みこしシスターズじゃんけん大会と試写会、よさこい演舞等 日時： 9月18日(日)9:30～15:00	室根高原ふれあい牧場	室根高原牧場まつり実行委員会(室根総合開発、JALいわて平泉、角蔵企画、乗馬クラブ等)	500人	(担当課自己評価) 室根、大東両地域の産業建設課と、指定管理者である室根総合開発が組織する実行委員会に参画し、室根高原の集客の増加につなげることができた。子供とその家族の集客があり、室根高原の認知度向上に繋がった。地域住民との協働を起こしにくいエリアでの事業だが、参加した市民と出演団体は大いに満足していた。 (懇談会の評価・意見等) 特になし

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人 員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
	9	室蓬コンサート「自衛隊音楽隊演奏会」 (摺沢市民センター)	新規	実施	200	0	157	【事業の目的】 自衛隊音楽隊を招へいし演奏会を行うことで、室の高い芸術に触れる機会を提供し、芸術文化の振興を図る。 【事業の概要】 陸上自衛隊第9音楽隊による演奏会の開催 日時：8月27日(土) 14:00~15:30	大東コミュニティーセンター	大東芸術文化協会 摺沢支部、摺沢地区食生活改善協議会、東磐井地区交通安全協会摺沢分会	332人	(担当課自己評価) 生演奏を聴く数少ない機会であり、曲目も幅広い年代に合わせた選曲であったことから来場者からは喜びの声が聞かれた。関係団体の協力者も、来場者・出演者に満足してもらったことで達成感を得られ、今後の活動の励みになった。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	10	一関市消防団大東第3分団 第7部 消防屯所チャッター ペイント事業 (一関北消防署)	新規	実施	351	0	351	【事業の目的】 消防屯所のチャッターへ子供たちが考えた防災イラストを描くことで防災への意識向上を図り、安全安心な地域づくりを目指す。子供たちと住民及び消防団員が共同でペイント作業を行うことで、世代間の交流を深め、元気な地域づくりに寄与する。 【実施事業の概要】 地元の子供会へ防災についてのイラスト原画を募集し、関係者でデザインを決定し、原画加工及び作成を業者へ依頼。事前に下地塗り及び下絵割付作業をした屯所チャッターへ、子供会と消防団員が色付け作業を行った。 日時：8月7日(日) 10:30~12:00	大東町曾慶字小森地内	子供会、消防団員	16人	(担当課自己評価) 昨年の課題であった地域に関連したデザイン画を取り入れることができた。 ・地域住民の世代間交流も兼ね住民と地元消防団との協働での事業であり、事業目的の主旨に沿っている。本事業でチャッターペイントすることにより明るい地域づくりに繋がりが有意義である。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	11	帯コン〜読書をかたちに〜 (大東図書館)	新規	実施	200	0	158	【事業の目的】 読書体験をいかして本の帯を作ることで、読書の成果をかたちに表すことができ、帯を通して本と利用者をつなぎ、一層の読書推進及び図書館利用の促進を図る。 【実施事業の概要】 図書館利用者を対象におすすめの本を紹介する自作の本の帯を募集し、審査員で審査し、表彰した。応募作品は本とともに展示し、本は貸し出ししました。 応募期間：8月2日(火)~9月25日(日) 作品展示：10月28日(金)~11月23日(水) 移動図書館車での貸出：12月1日(木)~3月10日(金)	大東図書館、移動図書館車なぎさ号	市内小中学校、大東高等学校、市内在住者(審査員)、大東図書館運営協議会	140人	(担当課自己評価) 市民スタッフや関係団体からの意見を取り入れながら、市民の読書意欲を高める事業とすることができた。 大東町内在住者を中心に多数応募があり、作品展示を目的に多くの市民が来館したことから、来館者数・貸出冊数の増加に繋がった。また、大東町外からも作品の応募や展示目的の来館があったことから、他地域からも注目されていたと言える。 利用者からは「また来年も実施してほしい」「作品(帯)を見て本を読みたくなった」「自分と別世代の人がどんな本を読んでいるのかが知れてよかった」等の感想が寄せられた。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	12	民俗資料館で「農具ミュージック」 (一関市民俗資料館)	新規	実施	417	0	416	【事業の目的】 農機具をもとに製作した演奏装置を使った演奏会を開催することで、民俗資料館に展示している唐箕や足踏み脱穀機などが奏でる音色から、民俗資料に興味や愛着を持ち、民俗資料館のファンを増やす交流の場となることを目的とする。 【事業の概要】 農機具の仕組みを用いた演奏装置3台の展示 日時：5月14日(土)~8月28日(日) 演奏装置と音楽家による演奏会の開催 日時：8月7日(日) 3回公演	一関市民俗資料館	水車プロジェクト有志	488人	(担当課自己評価) 農具を用いた演奏装置の制作や展示では、岡氏だけでなく音楽水車プロジェクトメンバー有志の協力を得ながら準備することができ、農具や民俗資料に愛着を持つ心の醸成を図ることができた。 岡氏をはじめ、一流の演奏家による演奏装置とのコラボ演奏と、会場となった展示ホールの雰囲気相まって、オリジナリティのあるイベントとなった。 来場者からは、農具や演奏装置の奏でる音楽に驚きの声が聞かれた。普段、博物館等施設を訪れないような方の来館もあり、今後の諸活動の前進につながった。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	—	緊急等事業対応分	—		411	0	0	年度途中に生じた緊急、突発的な事業を実施する。		-	-	
	8	計			3,375	0	2,051					

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
千厩 9事業 継3 新6	1	地域史跡保存支援事業 (地域振興課)	継続 2	変更実施	247	53	300	<p>【事業の目的】 磐清水濁沼地区において守り伝えられてきた菅原道真公及び秀才公に纏わる史跡について、令和3年が秀才公没後一千百年とされる節目の年にあたることから、史跡を含む周辺一帯を整備し認知度を上げ地域の観光資源となるよう周知を進め、地域の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>【実施事業の概要】 ① 実施日時 令和4年11月～令和5年3月 ② 内 容 「磐清水濁沼地区歴史物語伝承活動委託事業」 磐清水濁沼地区において長年守り伝えられてきた地域の歴史物語を後世に伝えるため、子ども達に親しみやすい漫画本を製作し、地元の子ども達に寄贈。製作した漫画本を使用し、子ども向けの伝承活動を行う。 ・R4.11月～R5.2月 漫画本製作 ・R5.2月～R5.3月 千厩小・中学校の児童・生徒への伝承活動（講話）及び漫画本贈呈 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画を変更して実施。</p>	千厩小学校、千厩中学校、安楽寺等	菅秀才史跡周辺保存会（磐清水濁沼地区住民他）	830人	<p>(担当課自己評価) 地元で伝わる歴史を漫画化することにより、理解しやすくなり、子どもから大人まで、多くの方に伝承できた。それにより、地元の歴史に興味を持つ方が増え、自分達で大切に守ろうという意識につながった。</p> <p>(懇談会の評価・意見等) 特になし</p>
	2	健康福祉結いこまつりin せんまや (保健福祉課)	新規	変更実施	517	-136	75	<p>【事業の目的】 障がい者・高齢者の支援グループ、子育てを支援する各種団体が協働開催し、各団体の地域支援と社会参加活動を周知・普及する機会とする。また、イベント運営の過程を通して、さらなる社会貢献活動の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>【実施事業の概要】 ①実施日時 令和4年10月22日～23日 ②内 容 ・参加協力団体の活動紹介x ・パンフレット、しおりの配布 ・キャップハンディ体験 ・いきいき百歳体操、せんまや音頭、健康長寿体操紹介 ・非常食レシビ紹介</p> <p>※ 商業施設駐車場にウィングトラックを設置しての舞台上演は中止。</p>	千厩ショッピングモールエスピア	一関市社会福祉協議会千厩支部、千厩地域保健推進委員協議会、一関市食生活改善推進員協議会千厩支部、千厩町民生児童委員協議会、千厩赤十字奉仕団、NPO法人響生、地域活動支援センターうまっこひろば、千厩子育てクラブ、社会福祉法人千厩寿慶会 ほか	286人	<p>(担当課自己評価) 会場を商業施設にしたことで、千厩町内外、市内外からも来場者があった。子ども連れの若い世代などに健康、福祉活動について周知もできた。また、アンケート調査により年代や関心のある項目などを把握することができ、次回開催の参考になった。</p> <p>(地域懇談会における評価・意見等) 活動展示はあったが、説明や対話がない。来場者との対話がほしかった。会場の都合などで活動ステージの実施がなく、執行率が低かった。産業文化祭との合同で行えばよかった。</p>
	3	千厩地域交通安全・地域安全普及啓発事業「みんなで守ろう！交通安全・地域安全」イベント (市民課)	継続 5	実施	300	0	177	<p>【事業の目的】 市民一人ひとりが交通安全や地域の安全安心を課題として捉え、意識の向上と実践の促進を図るため、交通安全運動、地域安全運動等の期間に交通ルールや交通マナー、防犯などについて学ぶ場を設置し、交通事故防止の徹底と交通事故のない地域、安全で住みよい地域づくりを目指す。</p> <p>【実施事業の概要】 ①実施日時 令和4年9月～12月（計5回実施） ②内 容 ・デジタルサイネージによる交通安全、防犯の啓発 ・危険予知体験シミュレーション、「クイックアーム」等の体験 ・「アルコールチェッカー」「酒酔いゴーグル」体験 ・交通安全グッズの配布 ・防犯、地域安全活動のPR</p>	せんまや夜市の会場、小梨・磐清水・奥玉市民センター、千厩ショッピングモールエスピア	千厩地域交通安全対策協議会、千厩地域交通指導隊、東磐井地区交通安全協会、千厩地域防犯協会	423人	<p>(担当課自己評価) 地域の交通指導隊員の協力のもと、千厩地域交通安全対策協議会や千厩警察署と連携して事業を実施することができた。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、規模を縮小しての開催となったが、交通安全や地域の安全安心の啓発につながった。</p> <p>(懇談会の評価・意見等) 特になし</p>
	4	せんまやグルメスタンプラリー事業 (産業建設課)	継続 2	実施	500	0	486	<p>【事業の目的】 飲食店の集客と情報発信を目的に令和3年度に制作した「せんまやグルメガイドマップ」（千厩食べ歩きマップ）を活用してスタンプラリーを実施する。近年、少子高齢化や人口減少により市場が縮小し、飲食店や商店等の集客が大きく減少している。さらに、長引くコロナ禍で祭りやイベントが軒並み中止され、遠方から千厩を訪れる人も激減している。そこで、地元や近場の内需を掘り起こすマイクロショッピングが再生のカギとなっており、地元商店街での買い物を楽しみと思える仕掛けとしてスタンプラリーを実施する。参加店はもちろん商店街全体の活性化に寄与することを目的とする。</p> <p>【実施事業の概要】 ① スタンプラリーの実施 参加店の募集、ポスター等による周知、抽選会実施（応募：1回目417通、2回目696通） ② 広報宣伝 PR用チラシの配架、配布、WEBやSNSによる情報発信など</p>	千厩町内	千厩まちづくり株式会社、一関商工会議所千厩支所、千厩地域の飲食店や菓子店	飲食店利用者 約10,000人	<p>(担当課自己評価) 前年度に作成した「せんまやグルメガイドマップ」を活用し、掲載店の知名度や売上向上につながった。千厩地域以外の方々の利用が予想以上に多く、応募数の増加につながった。</p> <p>(地域懇談会における評価・意見等) 今後自立して事業を継続するにあたっては、商工会議所だけでなく各種団体や実行委員会などつながり、企画していくことが大事だと思う。千厩高校生と一緒に取り組むことは大変良いことである。若い世代のさらなる参加に向けてデジタル化も検討してはどうか。</p>
	5	環境にやさしいまちづくり講演会 (市民課)	継続 5	中止	400	-400	0	<p>【事業の目的】 資源のリサイクルや地球温暖化防止など環境問題への関心が高まる中で、環境に対する問題意識を共有し、環境に配慮した生活の知識や方法を学ぶとともに、自主的な環境保全活動を推進し、連携と協力性のある地域社会を形成する。</p> <p>【実施事業の概要】 ※ 関係団体と協力して講演会を開催予定だったが中止</p>	-	一関市千厩地域公衆衛生組合連合会（中止が決まるまで協議等を行った。）	-	

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
	6	岩手せんまや福よせ雛プロジェクト (産業建設課)	新規	実施	442	0	367	<p>【事業の目的】 家庭で眠っているひな人形を再生利用し、誰もが楽しめるひな人形として商店街や公共施設等に飾ること、千厩地区の賑わいを創造していく。また、旧来から盛んに行われてきた千厩地区内のひな人形展示に合わせて事業を実施することで、SDGsの活動精神に賛同し、地域文化の継承とひな人形を大切にする活動にも寄与する。</p> <p>【実施事業の概要】 ① 福よせ雛の講座 講師 福よせ雛プロジェクト代表 [REDACTED] ② 福よせ雛の製作 令和4年10月～令和5年2月 ③ 福よせ雛の宣伝 ④ 福よせ雛の展示 千厩酒のくら交流施設、千厩・小梨市民センター</p>	千厩酒のくら交流施設、千厩市民センター、小梨市民センター	千厩地区まちづくり協議会、小梨自治振興協議会、蔵サポーターの会、地域参加者	来場者 12,096人	<p>(担当課自己評価) この取り組みは、東北地方で千厩地域だけであり、市内外から多くの人が訪れた。雛人形再生という希少性があるSDGsな取り組みは、多くの人に驚きを与えているほか、「せんまや」の知名度向上やイメージアップにもつながった。「せんまやひなまつり」と同時開催したことで、来場者の増加に伴う経済効果があった。</p> <p>(懇談会の評価・意見等) 特になし</p>
	7	せんまやベジタブル産地直送プロジェクト (産業建設課)	新規	実施	460	0	227	<p>【事業の目的】 千厩産の採れたて野菜をたくさんの人に食べてもらうプロジェクト。ふるさと納税の返礼品や古里の特産品として市外へ販売する「外商」と産直やマルシェなどを通じて市内で消費する「地消」を同時に進める。また、季節の野菜を年中直送できる「せんまやベジタブル」のブランド化を目指す。</p> <p>【実施事業の概要】 ① 農産物の生産活動 5～10月 ② 農産物の販売活動（販路開拓） 11/27 朝採れふぞろい野菜市（松澤神社駐車場内） ③ デザイン製作作業 10月～12月 ④ 広報宣伝活動 随時 ⑤ 講習会 4月～1月 「ふるさと納税返礼品について」ほか3回</p>	千厩町内	せんまや馬ごころの会、農産物生産者、商店街関係者、地元有志スタッフ、購買者等	約50人	<p>(担当課自己評価) 朝採れ野菜の販売は好評で、「地消」の取組みの第一歩になったほか、地域内外に当事業の取り組みが認知された。</p> <p>(地域懇談会における評価・意見等) 当事業の情報発信の仕方をもう少し工夫してほしい。会員の多くは農家ではないため、商品として安定的に提供することは難しい。地域の農家に協力してもらいながら、安定した収量を確保して販売することも検討してほしい。</p>
	8	乗ってみっぺしデマンド型乗合タクシー (地域振興課)	新規	実施	432	0	239	<p>【事業の目的】 令和3年度から運行を開始したデマンド型乗合タクシーについて、無料乗車体験を通じて利用者にデマンド型乗合タクシーの運行方法等を知っていただき、地域の交通手段として利用を促進させ、千厩町内の活性化を図る。</p> <p>【実施事業の概要】 ① 実施日時 令和4年7月～10月 (1) 奥玉 (8/30、10/6、10/14) (2) 清田 (7/12、8/25、9/28)、 (3) 小梨 (7/12、8/31、9/27) ② 内容 ・ 無料乗車体験（自宅からエスピーアまでの往復運行） ・ デマンド型乗合タクシーの運行説明 ・ 市民センターによる出前講座 ・ 買い物 ・ アンケートの実施</p>	千厩町内	奥玉・小梨市民センター、民生委員、老人クラブ、デマンド型乗合タクシー運行事業者	51人	<p>(担当課自己評価) 千厩地域の住民にデマンド型乗合タクシーの運行内容を周知することができた。民生委員や行政区長の参加もあり、今後、地域で公共交通を必要としている方々にお声がけいただけるものと期待している。</p> <p>(地域懇談会における評価・意見等) 事業実施により、デマンド型乗合タクシーの利用者がどの程度増えたか把握すること。あるいは、そこをより意識して事業を組み立てること。</p>
	9	寄り添いの桜記念植樹 (地域振興課)	新規 追加	実施	0	100	99	<p>【事業の目的】 東日本大震災後に仮設住宅を開設した、旧千厩中学校跡地と旧折壁小学校跡地に気仙沼市からの感謝の気持ちとして建立された記念碑に対して、一関市民として今後も寄り添っていくことを忘れず心にとどめておくことを目的に、「寄り添いの桜」として記念植樹する。</p> <p>【実施事業の概要】 ①実施日等 ①令和4年9月30日（金） 10：00～12：00 旧折壁小学校跡地 ②令和4年10月1日（土） 13：30～14：00 旧千厩小学校跡地 ②内 容 シンガーソングライターの [REDACTED]さんとともに、市及び地元自治会で、令和2年に気仙沼市が建立した記念碑に寄り添うように、桜の木の植樹を行った。</p>	旧折壁小学校跡地、旧千厩小学校跡地	駒場自治会、屋中自治会、レクイエムロード実行委員会一関支部	16人	<p>(担当課自己評価) 植樹した桜が、石碑に寄り添い毎年春に桜の花を咲かせるたびに、一関市が被災地の皆さまとともに今後も歩んでいくという思いを繋いでいくことができる。</p> <p>(懇談会の評価・意見等) 特になし</p>
	10	せんまやシャトル馬車運行事業 (産業建設課)	新規 追加	実施	0	460	407	<p>【事業の目的】 「せんまやひなまつり」の開催に合わせて観光馬車を運行し、千厩商店街や観光スポットを巡る。運行区間は新町まちの駅からJR千厩駅までの約1.5km。ひなまつり会場の千厩酒のくら交流施設には「せんまや馬事資料館」が、国道456号本町ポケットパークには義経の愛馬「大夫黒」の顕彰碑、案内板、村上元三文学碑が設置されており、これら馬産地千厩のシンボルとともに、千厩の歴史・文化を今に伝え、馬を生かした観光振興に結び付けることがねらい。なお、乗車は観光客に限定せず、買い物客など商店街を訪れた誰もが利用できる。「地元商店街は楽しい」と思える仕掛けをつくり、商店街全体の活性化に寄与することも目的の一つとする。</p> <p>【実施事業の概要】 ○ 馬車運行業務 運行日 令和5年2月11日（土）、12日（日）、18日（土）、3月5日（日） 時 間 10時から16時までのうち往復計4回（停車場あり） ル ー ト 新町まちの駅JaJa馬プラザ前路上からJR大船渡線千厩駅前路上まで ○ 情報発信業務 WEBやSNSによる情報発信、報道機関への情報提供など</p>	千厩商店街	一関市観光協会千厩、千厩ひなまつり実行委員会、千厩まちづくり株式会社、千厩・大夫黒・馬っこの会、一関商工会議所千厩支所、千厩地域の商店	乗車 550人	<p>(担当課自己評価) 「せんまやひなまつり」の開催に合わせて観光馬車を運行。千厩商店街や観光スポットを巡る企画として、好評を博した。新町まちの駅では発車前や下車後に馬に餌を与えたり、馬と一緒に写真を撮ったりする時間を設けたことで、馬との触れ合いができた子供連れの家族などからは大変喜ばれた。</p> <p>(地域懇談会における評価・意見等) 非常に良い事業だと思う。運行経費が嵩むため、実施主体が自立して行うことは難しいと思う。ひなまつりメニューを提供する飲食店などに協賛してもらい、資金を集める方法もあると思う。地域全体が自分ごととして街を盛り上げていくんだという意識付けが必要。</p>
	—	緊急事業等対応分	—		77	-77	0	年度途中に生じた緊急、突発的な事業を実施する。				
	9	計			3,375	0	2,377					

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
東山 11事業 継5 新6	1	お家で「骨コツ！貯筋教室」 (保健福祉課)	継続 2	実施	189	0	188	【事業の目的】 住民の方が自宅でも取り組める体操を実践することで、健康長寿・介護予防につなげる。 【実施事業の概要】 ①実施時期 令和4年9月～令和4年12月 ②事業内容 東山こつこつウォーキングマップ作成 東山音頭こつこつ健康体操PRDVD作製 東山こつこつ健康ウォーキング教室の開催（4回/計107人参加） ひがしやま健康セミナー開催（計136人参加）	東山地域交流センターほか	一関市体育協会、保健推進委員、食生活改善推進員	507人	(担当課自己評価) 東山地域の魅力を再発見するウォーキングマップが完成し多くの市民にウォーキング教室に参加してもらうことができた。 健康セミナーは、参加者も多く健康づくりのきっかけになったと大変好評で、次年度も継続開催を希望する声が多く聞かれた。 (地域懇談会における評価・意見等) 令和5年度も実施してほしい。 市民センターの婦人学級と日程が重ならないようにしてほしい。
	2	新・魅力あふれる東山特産品PR事業 (産業建設課)	継続 3	実施	370	100	465	【事業の目的】 多くの人に特産品をPRして新たな販売ルートを確立する。このことにより、消費が拡大し地場産業の振興が図られる。 【実施事業の概要】 ①実施時期 令和4年7月～令和5年2月 ②事業内容 ふるさと便のパフレット作成・送付（首都圏在住者、地域内全戸）、ふるさと便の発送	首都圏ほか	首都圏在住者（武蔵小山商店街利用者）、東山地域住民	83人	(担当課自己評価) 昨年からボリュームアップしたパンフレットやSNSにより、商品だけではなく地域の魅力も併せてPRができた。 3年ぶりに開催した物産展においてPRしたことで、当地区の特産品を手にしてもらい、その魅力を伝えることができた。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	3	長坂商店街賑わい復活事業 (産業建設課)	継続 3	実施	450	0	449	【事業の目的】 唐梅館絵巻の前夜祭や誘客イベントなどで集客力を高め、賑わいの創出と一体感の高揚を図るとともに、商店街の活性化につなげる。 【実施事業の概要】 ①実施時期 令和4年9月24日、令和5年3月12日 ②事業内容 『東山うれし市』の開催（2回）マルシェ、キッチンカー、ステージイベント等	長坂商店街、東山地域交流センター	商工会議所、商工会議所青年部ほか	9/24 2,000人 3/12 4,000人	(担当課自己評価) 地域の賑わい創出のため、実行委員会のみならず、幅広い人材とのネットワークが構築できた。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	4	東山の企業探訪ツアー (産業建設課)	新規	実施	110	-100	0	【事業の目的】 町内にある企業の見学ツアーを開催し、住民に参加してもらうことで地域理解につなげ、「まち・ひと・しごと」の創出プロジェクトの一助とする。 【実施事業の概要】 ①実施時期 令和4年8月30日 ②事業内容 東山中学校1学年の総合的な学習とタイアップし、2社の事業内容を見学した。	東山地域内企業	東山中学校、千住電子工業株式会社岩手工場、東里工業株式会社	44人	(担当課自己評価) 地元の事業所を知ってもらうことを目的としており、中学校は、総合学習の一環として取り組んでいただいた。 (地域懇談会における評価・意見等) 地元の企業を知るため、特に子どもたちが将来地元で働きたいと思うために、継続した方が良い。産業建設課には今後とも企業と学校の橋渡し役をお願いしたい。
	5	ひがしやまマルシェ出店者養成事業 (産業建設課)	新規	実施	456	-212	142	【事業の目的】 町内外で開催されるイベント・マルシェに出店できる住民を養成することで、商店街の活性化につなげ、新しいビジネスの創出につなげる。 【実施事業の概要】 ①実施時期 令和4年8月～10月（計5回） ②事業内容 東山和紙を活用した小物の制作及び販売にかかる講習会	東山地域交流センター	講師 ■■■■■	9人	(担当課自己評価) 令和3年度から実施している東山うれし市を地元で盛り上げるため実施。3月開催の東山うれし市2023春に受講者が出店申込をするなど効果はあった。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	6	ひがしやま山守育成事業 (産業建設課)	新規	実施	600	-200	400	【事業の目的】 山を守る大切さを再認識し、自分たちで地域の山林を管理する「ひがしやま山守」を育成するための講座を開催し、自伐型林業の育成や集落ぐるみでの里山管理を目指す。 【実施事業の概要】 ①実施時期 令和5年1月15日、3月18日・19日 ②事業内容 里山の恵み体験講座（薪割り体験、ピザ焼き体験、スウェーデントーチ作り） チェーンソー講習	田河津市民センターほか	合同会社芽葺き民家オフィス庄屋	40人	(担当課自己評価) 想定以上の参加者数で、次回の開催を期待する声が多く寄せられた。 ピザ窯でのピザ作り体験を軸にキャンプの実施など事業のアップデートの提案を受けた。 (地域懇談会における評価・意見等) 良い取り組みだと思う。山が活性化するほうほうがあれば。
	7	石賢アートギャラリー (石と賢治のミュージアム)	継続 3	実施	200	0	200	【事業の目的】 東山町をはじめ一関市民全体に、東山町と宮沢賢治との関わりについて知ってもらい、多くの皆さんに宮沢賢治と賢治に関連した素晴らしい作品などを親しんでもらう。 【実施事業の概要】 ①実施時期 ■■■■■ ガラス展 : 令和4年7月23日～8月21日 ■■■■■ コラボ展 : 令和5年3月11日～26日 ②事業内容 大下邦弘ガラス展「ガラスで創る宮沢賢治の世界」: 宮沢賢治をモチーフにしたガラス作品展。 戸田さちえ・遠藤りょうへいコラボ展「手から生まれるひかりたち」: 地域でものづくりをする方取材し、それらを題材にしたイラスト及び写真の作品展。	石と賢治のミュージアム	宮沢賢治ガイドボランティアの会	ガラス展 1,306人 コラボ展 344人	(担当課自己評価) 作品展でミュージアムを知り、再度家族と来館するなど、入館者の増加に結び付いた。 地域のものづくりを紹介することで、地域の活性化に寄与することができた。 (懇談会の評価・意見等) 特になし

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
	8	石賢ハートフルステージ (石と賢治のミュージアム)	継続 3	実施	350	0	350	<p>【事業の目的】 東山町をはじめ一関市民全体に、東山町と宮沢賢治との関わりについて知ってもらい、石と賢治のミュージアムを知ってもらう。事業を通じて、東山の子供たちに賢治と東山の関わりを再認識してもらい、地域に対する誇りを持ってもらう機会とする。</p> <p>【実施事業の概要】 ①実施時期 (1) ██████████ ジャズコンサート : 令和4年10月14日 (2) 宮沢賢治童話劇 : 令和4年9月19日 ②事業内容 (1) ██████████ ジャズコンサート : 東山中学校でのジャズコンサート (2) 宮沢賢治童話劇 : 劇団「黒猫舎」による演劇上演</p>	東山小学校、東山地域交流センター	宮沢賢治ガイドボランティアの会	ジャズコンサート 153人 童話劇 101人	(担当課自己評価) 劇団黒猫舎公演は、市の自主事業であるグスコブドリの大学校と同時開催としたことで、より多くの人に観覧してもらうことができた。 宮沢賢治に関わる演劇やコンサートを実施し、地域の特色を活かした事業を実施できた。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	9	不法投棄防止啓発事業（緊急対応分） (市民課)	新規 追加	実施	0	88	88	<p>【事業の目的】 不法投棄防止看板の設置及び不法投棄防止パトロールにより、不法投棄の減少を目指す。</p> <p>【実施事業の概要】 ①実施時期 令和4年12月～令和5年3月 ②事業内容 不法投棄防止パトロールの実施</p>	東山地域内	東山地域公衆衛生組合連合会	28人	(担当課自己評価) 不法投棄防止啓発マグネットシートを貼った車両でパトロールを重ねることで、地域でも監視していると認識が広まり、不法投棄が減少する効果が期待される。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	10	ドラマリーディング体験セミナー (緊急対応分) (地域振興課)	新規 追加	実施	0	255	255	<p>【事業の目的】 高齢者の生きがいがづくり、東山地域の文化水準の向上、話し方のトレーニングによる老化防止。</p> <p>【実施事業の概要】 ①実施時期 令和5年2月～3月(計6回) 発表会: 令和5年3月26日 ②事業内容 ドラマリーディング体験セミナー及び朗読劇発表会</p>	東山地域交流センター	一関市老人クラブ連合会東山支部、東山地域内各婦人会、東山芸術文化協会	セミナー 11人 発表会 23人	(担当課自己評価) 受講された方々は、生きがいがづくりや健康増進、朗読技術のスキルアップなどの目的をもって参加され、それらのニーズに合った事業展開ができた。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	11	宮沢賢治詩碑周辺整備事業 (緊急対応分) (地域振興課)	新規 追加	実施	0	248	248	<p>【事業の目的】 宮沢賢治詩碑周辺の整備により、詩碑と東山との関わりを更にPRするとともに、詩碑を訪れた方の利便性の向上と、地元の方々が宮沢賢治と東山との関わりについて理解を深める。</p> <p>【実施事業の概要】 ①実施時期 令和5年2月～3月 ②事業内容 宮沢賢治詩碑の洗浄、詩碑への案内看板の設置、詩碑周辺の環境整備作業</p>	新山公園及び東山支所周辺	たいしたもんだ長坂みらい塾、本町自治会	14人	(担当課自己評価) 地域の宝としての詩碑の存在を、住民にPRすることができた。 東山地域内外の方が、東山と宮沢賢治との関わりを再認識する機会とすることができた。 (懇談会の評価・意見等) ※地域懇談会後に実施した事業のため、現時点での評価・意見等なし
		緊急対応分	—		200	-179						
	11	計			2,925	0	2,785					

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
室根 8事業 継7 新1	1	交流の輪拡大事業 (地域振興課)	継続 (隔年) 3	実施	550	0	550	【事業の目的】 室根神社は勧請1300年の歴史を持つ神社である。室根神社の勧請元であり歴史的な縁から平成30年度に姉妹都市締結した和歌山県田辺市、令和3年度に友好都市締結した和歌山県新宮市、並びに室根神社の起源となる熊野本宮大社、速玉大社などを訪問し友好の絆を深める交流を目的とする。 【実施事業の概要】 R4.11月21日～23日 和歌山県田辺市及び新宮市を表敬訪問（熊野本宮大社、熊野那智大社、熊野速玉大社） 市長、職員、神社関係者、太鼓団体等との交流を実施し、令和6年開催予定の室根神社特別大祭のPRを行った。	和歌山県田辺市・新宮市	一関市室根友好交流推進協議会、室根神社、室根・熊野交流の会、室根まちづくり協議会	25人	(担当課自己評価) 室根神社特別大祭に参加いただくのみの交流であった新宮市に対し訪問交流が出来たことから、今後相互に行き来する交流が見込め、交流人口の拡大が期待できる。 (地域懇談会における評価・意見) コロナの関係で久しぶりの表敬訪問、交流となったが、とても有意義な内容であった。室根・熊野交流の会も設立し、今後の活動にも期待している。
	2	室根大祭役職継承事業 (地域振興課)	継続 3	実施	598	164	762	【事業の目的】 室根神社祭の役職は、従来より世襲制で引き継がれ、その役割等については口頭伝承により後継者へと引き継がれることが多く、長い歳月を経てその在り様に変化しつつある。また、近年は後継者不足により世襲制では対応できずに保存会を組織し祭を継承する役職も見られるなど、その役割について詳細な情報が希薄化しているということもあり、国の重要無形民俗文化財である祭を継承していくため、各祭役職の役割に係る具体的な記録書を作成し、将来の地域住民への伝承への一助とするもの 【実施事業の概要】 「室根神社祭役職記録書（仮称）」の作成。 R4 補完調査・記録書製本 ※ 過去2年の実施経過 R2 各役職等からの聞き取り調査（1回目） R3 各役職等からの聞き取り調査（2回目及び前年度の補完） 実地調査（室根神社特別大祭開催年のため、祭の流れ等）	一関市及び関係市町村	室根神社祭保存会	78人 延べ約150人	(担当課自己評価) 新型コロナウイルス感染症拡大のため、取りまとめ最終年度である令和4年度開催の室根大祭行事が中止となったため、当初予定していた祭り行事の流れに沿った現場調査ができず、平成30年度の記録を参照しての調査実施となったのが残念である。 文化財保護・支援の観点から定期的（10年に1回程度）な実態把握等が必要と思われる。 (地域懇談会における評価・意見) 特になし
	3	明るい未来セーフティむろね (市民課)	継続 2	実施	180	-17	162	【事業の目的】 交通安全や地域防犯等の「安全」に関する意識を高めるために、次代を担う児童・生徒等による啓発活動を通じて、自らも地域を構成する人間としての自覚を認識するとともに、地域住民一丸となった安全で安心な地域づくりに資する。 【実施事業の概要】 R4.11.12～13 交通安全ポスターコンクール・防犯標語作品展示、交通安全教育体験機材の設置、人権・行政相談コーナー、個人番号カード普及啓発コーナーの開設、交通安全及び防犯に係る啓発物品の配布	室根きらめきパーク (室根体育館)	一関市室根地域交通安全対策協議会、室根地域防犯協会、一関市交通指導隊室根地域隊等	約400人	(担当課自己評価) 交通安全体験機材による体験や、子どもたちのポスターや標語を見ることで、楽しく交通安全や防犯に対する意識を高めることができた。 (地域懇談会における評価・意見) 特になし
	4	今こそ野菜で健康習慣 in むろね ～おいしい地場産野菜をもっと食べよう～ (保健福祉課)	継続 3	実施	250	0	249	【事業の目的】 住民の野菜摂取量の増加に向け、食生活改善推進員と地域の協力店舗・関係施設と連携した普及啓発活動を行い、生活習慣病予防及び健康長寿を目指す。 【実施事業の概要】 ①6月～10月 9事業 ②野菜摂取量増加に向けた普及啓発、健康レシピ作成、オンライン栄養クイズ、「おやさいおいしくたべたよカード」の取り組み、野菜の企画展、野菜の計量体験、SNSによる情報発信等	道の駅むろね、すずまーと、保育施設、図書館、市民センター、営農経済センター	団体数延べ25団体、食改員のべ66人	約7,400人	(担当課自己評価) 関係団体と目的共有と役割分担を行い、双方にメリットがある事業を行うことができたことから、今後も継続的な実施で事業の広がりが見込まれる。 地場産野菜生産者の協力も大きく、健康づくりに繋がると共に、地場産野菜の消費拡大に努めることができた。 (地域懇談会における評価・意見) 特になし
	5	室根まちなか賑わい創出事業 (産業建設課)	継続 2	実施	500	0	500	【事業の目的】 折壁町商店街に賑わいを創出し、参加者と地域が一体になって楽しみ、夢と希望を感じるまちづくりを推進するため、むろね七夕まつりを開催する。 【実施事業の概要】 折壁一丁目 地内（旧公会堂跡地（駐車場）と旧国道284号線（歩行者天国））を会場に七夕飾りの設置とステージイベントの実施 <ステージイベント> ・民族舞踊 ・サンイチ三味線 ・LOVE SONGERS ・DJ「wicked crew」 ・千厩プレスリーバンド	折壁町一丁目	むろね七夕まつり実行委員会（まちづくり協議会、商工会議所室根地域運営協議会、商工会議所青年部、折壁町自治会）	約700人	(担当課自己評価) むろね七夕まつりは室根地域の獨創性はなく、イベント等にも特色がない。折壁商店会の活性化を謳っているが、商店街としての盛り上がりは見られず、市の予算がなければ継続は難しいと思われる。むろね夏まつりとの位置づけについても今後調整を図る必要がある。 (地域懇談会における評価・意見) 特になし
	6	風薫る室根の丘から元気発信事業 (産業建設課)	継続 6	実施	400	-30	367	【事業の目的】 室根高原の観光PRを兼ねたイベントを実施する。また、来場者に室根高原の景観のすばらしさを再認識してもらうためにPRを行う。 【実施事業の概要】 室根高原牧場において、下記イベントを実施した。 ・引馬 ・牧草ラップ重量当てクイズ ・牧草ラップ落書きコーナー ・大東高校鹿踊り ・乗馬ショー ・よさこい演舞（菅原組・げいび藤美蓮） ・みこしシスターズじゃんけん大会と試写会	室根高原ふれあい牧場	室根高原牧場まつり実行委員会（室根総合開発(株)、JAいわて平泉、角蔵(株)、風薫る丘みちのく乗馬クラブ）	約500人	(担当課自己評価) 室根高原県立自然公園の利用集客増を図るためには、必要な事業と考えるが、年1回では少ない。元気な地域づくり事業をステップにさらなる展開を検討する必要がある。 (地域懇談会における評価・意見) 特になし

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人 員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
	7	室根の魅力発信事業 (産業建設課)	継続 4	実施	200	30	230	【事業の目的】 むろねに賑わいの灯火を灯そうプロジェクト…魅力的で地域の特色のあるイルミネーションを設置し、住民が集う場と市内外の集客、交流人口の増加による賑わいを創出し、室根地域の活性化を図る。 【実施事業の概要】 むろねに賑わいの灯火を灯そうプロジェクト…一関商工会議所室根支所の建物の壁面を活用し、室根山、室根山の桜とツツジ、大川を表現したイルミネーションを設置した。	折壁商店街	一関市観光協会室根、室根産地直売協同組合、一関商工会議所室根地域運営協議会、むろね商業協同組合、折壁町自治会、室根総合開発株式会社等	約1,000人	(担当課自己評価) イルミネーションの取り組みについては、周辺などの取り組み事例があり、地域理解を求めやすい。また、周辺からの観光に来ることが見込まれ、地域の活性化が期待できる。観光客については、中津谷川との相乗効果も期待できる。 (地域懇談会における評価・意見) 特になし
	8	地域の観光資源発掘事業 (産業建設課)	新規	実施	100	0	100	【事業の目的】 地域の奇石の屏風石を観光資源としてブラッシュアップするために必要な環境整備と案内看板の設置を行う。 【実施事業の概要】 ・市道本町天王前線三峯付近に屏風石の入口案内道標設置（委託） ・屏風石周辺環境整備 ※市道本町天王前線三峯付近から屏風石までの下草刈り / 約500m R4.9.18実施	折壁地内	第3区自治会	約50人	(担当課自己評価) 地区の住民を巻き込み山道の下草刈り等を実施するなど、地域のお宝再確認ができた。コロナ化ではあったが、外作業であり間隔をおき、協力しあい地域コミュニティにも役立った。 (地域懇談会における評価・意見) 特になし
	—	緊急事業等対応分	—		147	-147		年度途中に生じた緊急、突発的な事業を実施する。				
	8	計			2,925	0	2,920					

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
川崎 10事業 継4 新6	1	かわさき夏まつり花火大会 50回記念事業 (産業建設課)	新規	実施	420	0	314	【事業の目的】 かわさき夏まつり花火大会の50回目を記念する関連事業を行い、改めてかわさき夏まつり花火大会行事が地域の特色であることへの認識を深めてもらう。 【事業実施の概要】 ・川崎小学校6年生児童(全20人)を対象に花火大会絵画コンクールを実施。 作品は川崎市民センターに展示 ・児童20人の作品を掲載したカレンダー(R5.4~R6.3)を作成して川崎地域の全戸、主要施設に配布	川崎町内	かわさき夏まつり 実行委員会	川崎小学校 児童20人	(担当課自己評価) かわさき夏まつり花火大会が地域の特色となっていることを地域全体で認識する機会となった。今後、各家庭でカレンダーを1年間掲示して川崎地域の特色を日常的に意識することを通して、川崎地域への帰属意識の高揚や地域活動への参加意欲の増進が図られることが期待される。 (地域懇談会における評価・意見等) 特になし
	2	川崎あじさい公園まつり・ あじさい補植事業 (産業建設課)	継続 7	実施	718	0	553	【事業の目的】 ・JR陸中門崎駅前に設置されたあじさい公園の周知と、交流人口の拡大、地域の活性化を目的にこれまで「あじさい公園まつり」を開催してきた結果、年々公園を訪れる人が増え、あじさい公園の周知はもちろんのこと、このイベントそのものも地域に定着し、地域活性化につながっている。このまつりを継続することで、出演者、来訪者によりあじさい公園の周知と地域の更なる活性化を図ることを目的とする。 ・開園から6年が経過し、土壌不適合部に欠株が散見されるため、地域交流機会の増とあじさい公園の充実を目的にあじさい苗の補植を実施する。 【事業実施の概要】 ・川崎あじさい公園まつり(ステージイベント、体験イベント、地域の食出店) 実施日：令和4年7月3日 会場：川崎あじさい公園 来場者：約400名 ・川崎あじさい公園のあじさい補植作業 実施日：令和4年9月29日 会場：川崎あじさい公園 参加者：24名(川崎中学校3年生他)	川崎あじさい公園	川崎あじさい公園 まつり実行委員会 川崎あじさい公園 管理組合 川崎中学校	約400人	(担当課自己評価) 市が実行委員会の事務局として担っていることから、地域主導で事業(イベント)を行えるようになることが望ましい。 門崎地域のイベントではなく、川崎地域を代表するイベントとなるような展開が必要と考える。 (地域懇談会における評価・意見等) 当該事業を開催したことにより、地域の活性化や川崎あじさい公園のPRに繋がって良かった。 来場者が400人を超える祭りとなっている。川崎でもこれだけの規模の事業はなかなかない。頑張ってもらいたいと思っている。
	3	伝えよう！かわさきの食文化、思い出の味 (産業建設課)	継続 2	変更実施	174	0	99	【事業の目的】 川崎地域に昔から伝わっている食文化を後世に残すため、川崎地域で「食の匠」に認定されている方々の料理を広くPRする取り組みを行う。 【事業実施の概要】 ・「果報団子の小豆粥」のレシピカードを作成(2,000部)し、川崎地域内の各世帯及び主要施設に配布し、料理の周知を図った。 ・「果報団子の小豆粥」の料理教室【中止】	川崎町内	食の匠 食生活改善推進員	レシピカード 2,000部	(担当課自己評価) 料理講習会への参加者がいなかったことから、開催の周知時期と周知方法が課題と思われる。 今後は、地元特有の食材を使った料理講習会も検討していきたい。 (地域懇談会における評価・意見等) 自治会でも食の伝承活動を行っているところがあると思う。自治会を巻き込んでやってみるのも良いのではないかな。
	4	食べよう！かわさき食べ歩きスタンプラリー事業 (産業建設課)	新規	実施	141	0	141	【事業の目的】 新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域の飲食店は収入が減少し、深刻な経営状況となっていることから、川崎地域の飲食店を利用した際にスタンプを押印し、ラリー形式にすることにより飲食店への誘客を図り、併せて、抽選で地域の特産品を贈ることで地域の特産品を紹介し、地域の活性化を図る。 【事業実施の概要】 ・飲食店利用スタンプラリーの実施(令和4年6月1日~8月31日) ・参加飲食店 13店 ・スタンプラリー応募者 121人 ・応募者の中から抽選で20人に特産品セットを贈呈	川崎町内	一関商工会議所川崎支所	121人	(担当課自己評価) 事業実施期間を長くし、抽選を2回に分けることでより、事業効果が得られるよう継続実施して、地域の飲食店へのさらなる誘客を図っていききたい。 (地域懇談会における評価・意見等) 川崎町内の利用者が少なかった。もう少し川崎の人に利用してもらいたいと感じた。 川崎以外からも参加していて一定の効果があった。自治会連を使って周知した方が良い。
	5	カグラノミカタ2 (地域振興課)	継続 3	実施	260	0	260	【事業の目的】 ・布佐神楽を紹介する冊子をまとめることで神楽をより深く理解してもらう。 ・演目の意味が分かることで、ストーリーを理解し、より楽しんでみてもらう。 ・伝統芸能に親しんでもらうことで、継承したい気持ちを育む。 ・地域の宝としてみんなで守っていこうという気持ちを育てるきっかけづくり。 ・平成から令和という時代の節目に「平成の布佐神楽」をまとめることで後世に伝え残す。 【事業実施の概要】 ・10演目の翻訳(現代語訳) ・現代語訳を活用し、演目ごとの小冊子を製作。演じる際に配布する。 ・これまでの現代語訳を活用し「平成の布佐神楽」の冊子を作成する。	川崎町内	布佐神楽保存会	冊子作成 1,000部	(担当課自己評価) 冊子の作成は、伝統文化の継承や地域の宝を守ることにつながる。特に神楽の演目のあらすじや内容の解説など、市民の理解につなげることにより伝統文化の継承に役立つものと考えている。 本事業は3年計画の最終年度であり、今後は冊子を活用した神楽教室や発表の場の設定など布佐神楽の普及啓発に力点を置いて事業展開が必要。 (地域懇談会における評価・意見等) 成果品が長く活用できるようにしていただきたいと思っている。 手引きを見ただけでは理解していただくのは難しい。実際に踊りを見ながら活用していただくのがいいと思う。発表の場などでの活用も考えていかなければならないと思っている。

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
	6	我が町の母校・川崎中学校 60周年で町民みんなで学ぼう (地域振興課)	新規	実施	150	0	67	【事業の目的】 川崎中学校60周年記念事業の講演会を、川崎文化祭とコラボレーションし地域住民と一緒に祝い・学ぶ場として開催する。講演を通じてこれからのまちづくりに向けての活力の増進、人格の陶冶、資質等の育成の機会とする。 【事業実施の概要】 ・川崎中学校創立60周年記念講演会 講師：[REDACTED] 演題：「南極から見た地球の明日」～夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり～ 開催日：令和4年11月12日 会場：川崎中学校、川崎市民センター 来場者：162名	川崎中学校 川崎市民センター	川崎中学校 川崎市民センター	162人	(担当課自己評価) 川崎中学校60周年記念事業として実施する講演会を川崎文化祭とコラボすることにより、在校生や卒業生、保護者や地域住民などがともに学び、地域一体となってお祝いすることができた。 未来の灯り事業と共催することにより、地域に対して元気を発信することができると相乗効果があった。 (地域懇談会における評価・意見等) 特になし
	7	川崎中学校60周年を「未来の灯り」で祝おう (地域振興課)	継続 3	実施	300	0	108	【事業の目的】 ・地域を元気づけ、元気な川崎地域をアピールすることを目的に、川崎中学校と川崎市民センターにおいて冬期間ならではの心温まる演出を行う。 ・川崎中学校の創立60周年を川崎町の皆さんと祝うとともに、これからの川崎地域を担う子どもたちの未来と川崎中学校の飛躍を誓うイベントとする。 【事業実施の概要】 ・PET「灯ろう」作成 実施日 令和4年11月5日～6日 会場 川崎市民センター（川崎文化祭） ・点灯式 開催日 令和4年12月12日（点灯期間～令和4年12月21日まで） 竹灯り 約40本 / PET「灯ろう」 約200本 会場 川崎中学校	川崎中学校	NPO法人北上川サポート協会、川崎中学校、川崎市民センター	川崎中学校生徒 54名	(担当課自己評価) 各種イベントが中止される中、竹灯りを活用したイルミネーションを点灯することにより地域に対して元気を発信することができた。 本事業は中学生から提案のあった竹灯りを事業化したものであり、今後は、竹灯り事業の地域への広がりを期待するとともに、他の事業との関連性を持たせるなど事業にストーリー性を付加することが重要である。 (地域懇談会における評価・意見等) 中学校の60周年ということで点灯式を中学校で行ったが、人が集まりやすい市民センターなどでも点灯式を開催してほしい。
	8	歩いて増やそう健康習慣～ 歩いて知ろう川崎の魅力 (保健福祉課)	新規	実施	140	0	135	【事業の目的】 ・住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるための健康づくり、生きがいがづくり、介護予防活動をサポートすると共に、活動を支援する人材の育成を図り、川崎地域が健康で元気に輝くことを目的に実施する。 ・令和2年度に作成した砂鉄川堤防ウォーキングマップの活用を更に進めると共に、川崎地域内の他のウォーキングコースを設定し地域の健康づくり、各地区の健康づくり・介護予防・福祉に関する活動や個人の健康行動を更に活発なものとするきっかけとし、川崎で暮らし続けるための支え合える地域づくりに繋げたい。 【事業実施の概要】 ・千蔵川堤防・北上大橋ウォーキングコースを設定 ・地域の見どころを加えたウォーキングマップ作製をし、川崎町内全戸配布 ・ウォーキング交流会の実施（6/7、3/10） ・ウォーキングマップに関する周知	川崎町内	一関市スポーツ推進委員	約1300人	(担当課自己評価) 川崎地域の風景などを楽しみながら、継続してウォーキングに取り組み、健康意識を向上させる一助となる事業である。今後マップを活用しながら、より一層地域全体で健康づくり、介護予防に取り組んでいく必要がある。 (地域懇談会における評価・意見等) ウォーキング協会などの組織を立ち上げてはどうか。ウォーキングをやっている方もいるようなので組織化してやることで効果が上がると思われる。 参加したことで姿勢が良くなった。
	9	家族や地域 笑顔でつながる 食育の環（楽チンげんきレシピ紹介） (保健福祉課)	新規	実施	37	0	22	【事業の目的】 ・令和4年度より第4次一関市食育推進計画が施行され、基本目標として望ましい食習慣の形成と定着を掲げ、健康長寿の延伸につながる食育の推進や主食・主菜・副菜をそろえた栄養バランスの取れた食事の実践に取り組むこととしている。 ・地域の健康づくりボランティアである食生活改善推進員が考案したレシピを、道の駅やスーパーにて配架することにより、食に関心を持つ市民を増やすことを目的とする。 【事業実施の概要】 ・レシピ作成（メニュー検討、試作会） 令和4年4月～9月 ・レシピ配架（4か所（道の駅かわさき、スーパー旭屋、川崎市民センター、川崎支所）） 令和4年10月～2月（月毎にレシピを変更 全5回）	川崎町内	一関食生活改善推進員	延べ450人	(担当課自己評価) レシピを通じて、バランスの取れた食生活の実践や食への関心を深める機会となる事業である。今後、若い世代へのアプローチ手段の検討や、子どもの頃からの望ましい食習慣の形成のために、対象を絞って食育に取り組んでいく必要がある。 (地域懇談会における評価・意見等) 特になし
	10	御神楽まなで広めよう (地域振興課)	新規 追加	実施	0	132	132	【事業の目的】 川崎地域唯一の郷土芸能である布佐神楽は、平成25年4月に岩手県指定無形民俗文化財に指定されているが後継者育成が課題となっている。 川崎小学校で体験・指導が行われ、運動会で演舞を披露するなどの活動が行われているが一時的なものとなっている。誰でも参加可能な体験教室を開催し、郷土芸能に触れ身近に感じてもらう機会を提供し、後継者育成を図る。 【事業実施の概要】 ・体験教室の開催 実施日 令和4年11月29日～令和5年2月11日 / 25回 会場 防災センター ・発表会の開催 開催日 令和5年2月12日 会場 川崎市民センター（芸能発表会）	川崎防災センター、川崎市民センター	布佐神楽保存会、NPO法人北上川サポート協会	271人	(担当課自己評価) 地域の伝統芸能である布佐神楽を学んでみたいという地域住民のニーズに対して、NPO法人北上川サポート協会が布佐神楽保存会と協力し体験教室を開催した。なかなか触ることができない郷土芸能を身近に感じてもらうとともに、文化祭舞台部門に発表の場を設定するなど、参加者に目標を持たせることにより、後継者育成や伝承活動の幅を広げることができた。 (地域懇談会における評価・意見等) 後継者育成ということであれば、小中学生以降の若い方に絞って参加者を募集するのもありではないか。女性が多く参加した。この企画は成功だった。
	—	緊急等事業対応分	—		585	-132	0	年度途中に生じた緊急、突発的な事業を実施する。				
	10	計			2,925	0	1,831					

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
藤沢 7事業 継5 新2	1	レッツ体験！交通安全フェスタ (市民課)	継続 2	実施	110	0	45	<p>【事業の目的】 交通事故のない安全で安心な社会を実現するため、体験型交通安全資器材を用いた一般向け交通安全教室及び高齢者向けの交通安全教室の開催を通じ、交通安全意識の醸成に資することを目的とする。</p> <p>【実施事業の概要】 ＜高齢者向け事業＞ シニアカー試乗、改正道路交通法講習（高齢者関係）等の交通安全教室を開催した。 ＜一般向け事業＞ 文化祭会場において、体験型交通安全資器材を用いた交通安全教室を開催した。 実施日時 令和4年9月21日 9:30～12:00（高齢者向け事業） 令和4年10月29日 9:00～17:00（一般向け事業） 30日 9:00～15:00</p> <p>○内容 ＜高齢者向け事業＞ ・シニアカー体験試乗・実践講習 ・安全運転サポート車体験試乗 ・高齢者のための交通セミナー ・デマンドタクシー事業の紹介 ＜一般向け事業＞ ・俊敏性測定 ・危険予知トレーニング ・デジタルサイネージによる交通安全PR ・交通安全グッズの展示・販売</p>	藤沢文化センター・藤沢市民センター	藤沢地域交通対策協議会、藤沢町住民自治協議会、一関市老人クラブ連合会藤沢支部、東磐井地区交通安全母の会連合会、千厩警察署、千厩自動車学校、(株)フジテック岩手、岩手三菱自動車販売(株)千厩店	237人	<p>(担当課自己評価) 一般向け事業では、文化祭会場の一角で開催したことや、資器材が電子効果音等ゲーム感覚で気軽に組み立てられる仕様であったことで、多くの市民が参加・体験いただけたことにより、事故の反射能力への自覚、ひいては交通安全意識の醸成に繋がった。 高齢者向け事業では、シニアカー試乗や高齢者の自動車運転免許更新手続き変更点の講習など関心の高いタイムリーなメニューを企画し参加者から好評を得た。</p> <p>(懇談会の評価・意見等) 特になし</p>
	2	地域をつなぐ ふれあい一皿運動 (保健福祉課)	継続 11	実施	595	0	479	<p>【事業の目的】 高齢者の健康に配慮した料理等を届けながら、会話を通したふれあいをすることにより、高齢者及びスタッフの心の元気づくりや、一人暮らし高齢者の見守りを目的として実施する。</p> <p>【実施事業の概要】 ○実施日時 5月から3月まで（8月、1月、2月を除く）各月1回 / 計8回 各月2日間（概ね第1木曜日、第1金曜日） ○調理 … 9:00～ ○訪問 … 11:30～12:00 ※木曜日：藤沢、大籠地区 ※金曜日：黄海、八沢、保呂羽地区</p> <p>○内容 70歳以上の一人暮らし高齢者に手作り料理を届け、会話によるふれあいを行った。 「地域をつなぐ ふれあい一皿運動」活動記念誌を発刊した。</p>	○調理…藤沢保健センター ○訪問…藤沢町内	一関市食生活改善推進員協議会藤沢支部、藤沢町住民自治協議会、藤沢町行政区長連絡協議会、藤沢町民生児童委員協議会、藤沢地域保健推進委員協議会	訪問者数…延べ1,067人 調理…延べ142人 訪問担当…延べ673人	<p>(担当課自己評価) 対象者、訪問スタッフともに訪問の日を楽しみにしており、心の元気づくりに繋がった。 また、訪問スタッフからの報告により、対象者によっては保健師等が支援しており、高齢者の見守りの一助となった。 各団体の協力を得ながら実施することで、各自治会単位の地域づくりにも繋がった。 記念誌の発刊を通じて地域住民に一皿運動の取組を広く知ってもらうことで、これまで携わってきた方の思いや願いに触れ、取組に対する意欲をより一層高めることができた。</p> <p>(懇談会の評価・意見等) 食生活改善推進員だけで行っている行政区がある。事業の内容をよく理解していない人や、様々な団体が関わっていることを知らない人も。もっと周知が必要。 子ども食堂の動きがあるが、一皿運動と一緒に検討が必要ではないか。 また、一人暮らしだけでなく、80歳、90歳の老老世帯も含めて総合的に考えることが必要。</p>
	3	熱陶甲子園 in Fujisawa 2022 (産業建設課)	継続 2	実施	500	0	398	<p>【事業の目的】 全国の高校生を対象に陶芸甲子園を開催し、作陶を通してものづくり教育の振興や地元住民との交流を図るほか、新しい風を取り入れながら野焼人口の底辺拡大と次代の担い手の発掘などを目的とする。</p> <p>【実施事業の概要】 藤沢野焼祭とタイアップし、全国の高校生を対象に陶芸甲子園を開催した。 ・広報周知、作品の製作 ・参加、熱陶甲子園の開催、動画の制作と発信</p>	藤沢運動広場	藤沢野焼祭実行委員会、市民スタッフ(地元チューバー)等	70人	<p>(担当課自己評価) 高校生の参加により活気があり、市内ばかりではなく市外の高校生も多く活気があり、また交流の場になったなどの声が寄せられ、今後の若者の集客に繋がるものになった。</p> <p>(懇談会の評価・意見等) 特になし</p>
	4	ダンスパフォーマンス・イン・フジサワ (産業建設課)	継続 2	中止	500	-500	0	<p>【中止】 一関市出身の世界的ダンサーSHUHO氏を講師にダンスを学び、藤沢野焼祭で100人規模のダンスパフォーマンスを行う。 ・ダンス講習会の開催、ダンスパフォーマンスの実施、動画の制作と発信</p>				
	5	きっくばいくレース (地域振興課)	新規	実施	500	0	394	<p>【事業の目的】 モータースポーツが盛んである藤沢地域の特色を生かし、子ども用ペダルなし自転車「キックバイク」のイベントを通じて、親子で楽しめる時間、親子で遊べる時間を提供し、子育て世代の地域行事参加を促すとともに親子の健康増進を図る。</p> <p>【実施事業の概要】 ○実施日時 令和4年7月31日 15:00～16:00 ○内容 2歳児から5歳児までの子ども及びその家族を対象に、キッズ用キックバイクの年齢別レースを実施した（4クラス×2回＝8レース実施）</p>	藤沢文化センター前庭	FEST、一関商工会議所青年部藤沢支部、藤沢町住民自治協議会	選手29人、保護者等58人、市民スタッフ15人 合計102人	<p>(担当課自己評価) 他のイベントと連携して開催としたことで、相乗効果が生まれ幅広い年代から参加いただけた。 企画から運営までFESTや自治協の参画を得ながら、細かなニーズを把握しながら実施できた。 実施後、地域内の行事でキックバイクを用いた企画が行われ、徐々に広がりを見せている。</p> <p>(懇談会の評価・意見等) 商工祭のときにきっくばいくレース体験をしたが、商工会青年部のほうから来年も実施したいという声があり、継続してもらえれば連携したい。 キックバイクについてはもう少し台数があると、レースがスムーズでよい。</p>

地域	No.	事業名 (担当課名)	継続・新規	事業の状況 (実施、中止等)	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (千円)	【事業の目的】 【実施事業の概要】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数 (人)	担当課自己評価/ 地域懇談会における 評価・意見等
	6	一関藤沢市民劇場PR事業 (藤沢文化センター)	継続 11	実施	150	0	150	<p>【事業の目的】 一関藤沢市民劇場は、藤沢地域に伝わる史実や物語を題材とし、地域住民の手づくり演劇という総合芸術で表現することによって地域に対する愛着を育み、地域の文化活動の活性化に資することを目的とした意義ある事業であることから、市では、この事業を広く市民に周知することを目的とする。</p> <p>【実施事業の概要】 ○実施日時 令和4年12月13日 第1回一関藤沢市民劇場実行委員会 令和5年1月6日 一関藤沢市民劇場制作部会 令和5年3月24日 第2回実行委員会 ○内容 第24回一関藤沢市民劇場のポスター及びチラシを作成し、一関藤沢市民劇場のPRを行った。 ・ポスター A2判 カラー 150枚 ・チラシ A4判 表面カラー、裏面1色 2,600枚</p>	藤沢文化センター	一関藤沢市民劇場 実行委員会	150人	(担当課自己評価) ポスターやチラシによって十分な情報発信ができた。地域住民の手づくり演劇の認知度を上げるとともに、藤沢地域の文化や歴史を再認識させるきっかけを提供できた。 (懇談会の評価・意見等) 特になし
	7	藤沢町の素敵を発信！！～縄文を知る、郷土作家を知る～ (藤沢図書館)	新規	実施	311	57	365	<p>【事業の目的】 コロナ禍にあってもより地域を元気にするため、改めて藤沢町にゆかりのある「人物」「行事」「出来事」「建造物」「景勝」などに目を向け、地域住民が「暮らしを豊かに楽しむ」ためのキッカケを提供するとともに、その中から新たな魅力の発見や展開に繋がるような支援を行う。</p> <p>【実施事業の概要】 (1)郷土作家文学講座「楡 周平編」(全3回) 令和4年10月1日(土)、16日(日)、23日(日) 13:30～15:30 市内在住の■■■■氏を講師に迎え、藤沢町出身の郷土作家である楡周平氏の3作品「プラチナタウン」「和僑」「終の盟約」についての講座を開催した。 (2)トークイベント「岩手の縄文人」 令和4年11月27日(日)14:00～16:00 東京在住の■■■■と■■■■をゲストに迎え、岩手県の土偶や遺跡をテーマにトークイベントを行った。</p>	(1)藤沢市民センター (2)藤沢文化センター	藤沢図書館運営協議会、図書館ボランティア、藤沢町史談会、高橋東章顕彰会、東磐史学会	(1) 75人 (2) 160人	(担当課自己評価) 参加者および関係団体の方が、イベントを体験する前後で考えや気付きなどの様子が格段に変化したため、事業効果があったと考える。 また、当日参加できなかった方への事業の成果も対応可能な環境にあるため、潜在的な利用者の獲得にも繋がるとともに、来年度に向けて講師やゲストとの連携もより深めることができた。 (懇談会の評価・意見等) 3年ぶりに野焼祭が開催された。盛り上げるためにもその前に開催したほうがいいと思った。 関係機関に藤沢野焼祭実行委員会が入っていないので、実行委員会と一緒に事業をしてみてもどうか。
	8	バーチャルツアー 「藤沢純情百景」 (産業建設課)	継続 3 追加	実施	0	439	438	<p>【事業の目的】 四季折々の美しい自然、美味なる食、心を揺さぶる祭り、郷土に伝わる文化や風習など、旅人の心を豊かにする藤沢の魅力をオンラインで発信する。オンラインで藤沢を旅する視聴者が、実際に「藤沢を訪れたい」「藤沢の人に会いたい」と思えるような、旅人をもてなす人をつなぐバーチャルツアーを目指すことを目的とする。また、コロナで帰省できない古里出身者が古里に帰った気持ちになれる帰省動画の役割も果たす。</p> <p>【実施事業の概要】 ○実施期間 令和4年8月10日～令和5年3月29日(打合せ、撮影、編集等) ○内容 ア)手づくり動画の作成 藤沢の魅力が詰まったテーマ別動画8本を作成し、動画共有サイトYouTubeで発信した。 イ)ポスター200部とチラシ7,000部を作成し、周知した。</p>	撮影場所： 一関市藤沢町、打合せ場所：市民スタッフ宅他	一関市観光協会藤沢、アーク牧場、各イベント組織、町内飲食店、町内りんご園、大籠殉教公園資料館	2,868人 (視聴回数)	(担当課自己評価) ・「写真や活字にはない動画ならではのリアリティ感がありとても面白かった。ぜひ行ってみたい。」などの声が寄せられ、今後の観光地への集客に繋がるものになった。 (懇談会の評価・意見等) ・大籠キリシタン資料館は、ほかの博物館等と比べ、極端に入場者数が少ないので、産業建設課の「藤沢純情百景」などで取り上げて、入場者数増を狙ってみてはどうか。
	-	緊急事業等対応分	-		259		0					
	7	計			2,925	-4	2,269					

一関市総合計画 基本構想

市民と行政の
協働のまちづくり

健全な
行財政運営

広域連携の
推進

一関市協働基本計画

協働のための
人づくり

協働のための
環境づくり

協働のための
仕組みづくり

一関市地域協働推進計画（第2次）

H31～R5